

○第145回動物用医薬品専門調査会議事概要メモ（非公開）

日時：平成24年11月8日（木） 13：59～15：49

議事概要

1 動物用医薬品の食品健康影響評価について

(1) 馬鼻肺炎生ワクチン（エクエヌテクト ERP）

- ・ 継続審議となった。

(2) マイコプラズマ・ハイオニューモニエ感染症（アジュバント・油性アジュバント加）不活化ワクチン（エムパック）

- ・ 審議の結果、「適切に使用される限りにおいては、食品を通じてヒトの健康に影響を与える可能性は無視できるものと考えられる。」とすることが了承され、評価書（案）を一部修正の上、食品安全委員会に報告することとされた。

(3) マイコプラズマ・ハイオニューモニエ感染症（カルボキシビニルポリマーアジュバント・油性アジュバント加）不活化ワクチン（レスピフェンド MH-One FDAH）

- ・ 審議の結果、「適切に使用される限りにおいては、食品を通じてヒトの健康に影響を与える可能性は無視できるものと考えられる。」とすることが了承され、評価書（案）を一部修正の上、食品安全委員会に報告することとされた。

馬鼻肺炎生ワクチン（エクエヌテクト ERP）

- * 馬ヘルペスウイルス1型感染による呼吸器疾病の症状の軽減に用いられます。

マイコプラズマ・ハイオニューモニエ感染症（アジュバント・油性アジュバント加）不活化ワクチン（エムパック）

- * 豚のマイコプラズマ性肺炎による肺病変形成の抑制並びに増体量抑制及び飼料効率の低下の軽減に用いられます。

マイコプラズマ・ハイオニューモニエ感染症（カルボキシビニルポリマーアジュバント・油性アジュバント加）不活化ワクチン（レスピフェンド MH-One FDAH）

- * 豚のマイコプラズマ性肺炎による肺病変形成及び増体量抑制の軽減に用いられます。